

水田に移る鎮魂のかがり火と石明かり

浮金行政区の地域おこしグループ「里山倶楽部」による、水田の周りにかがり火と石明かりを灯すイベントが10月16日、浮金字越野地区で行われました。

これは、震災で犠牲になられた方々の鎮魂を目的に、県の地域づくり総合支援事業を活用して行われたものです。

イベントでは、地域の皆さんに呼びかけて集めた廃食油と空き缶を利用して環境に優しいかがり火と、地元の石材業者の皆さんが町の特産である浮金石を使用して作製した石灯籠の明かりで犠牲者を追悼しました。

また小町夢太鼓による演奏も行われ、訪れた人たちは炎の視覚的な効果と和太鼓の聴覚的な効果で、田園地帯の幻想的な空間を楽しんでいました。



2



3



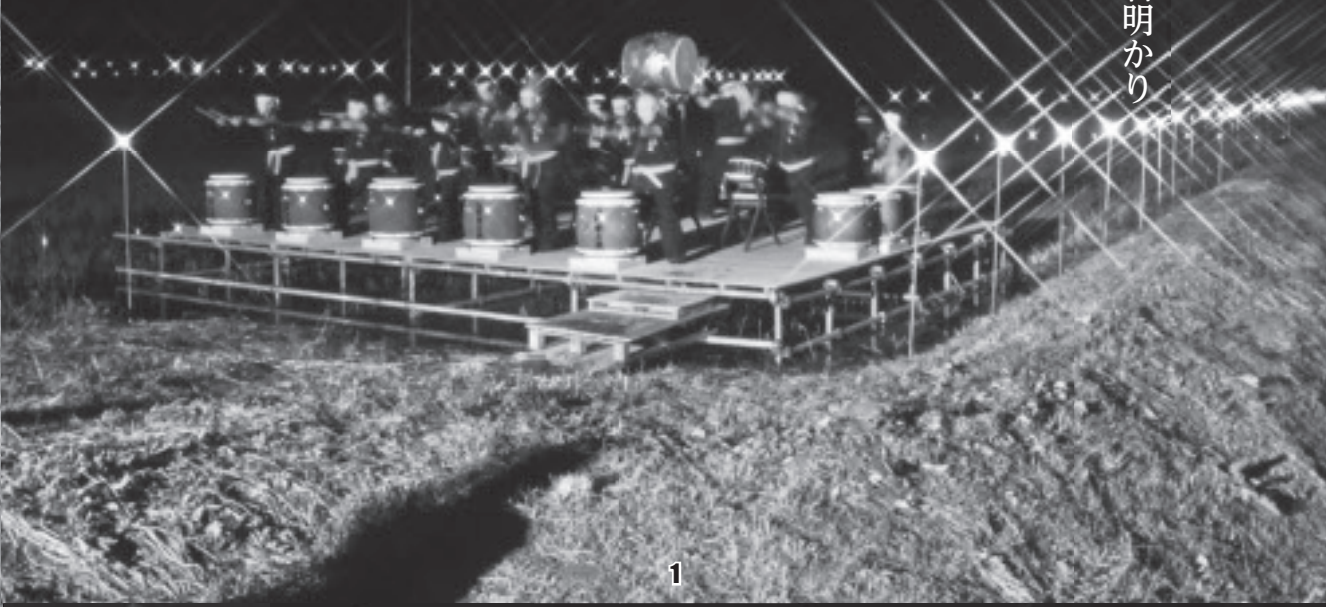
4



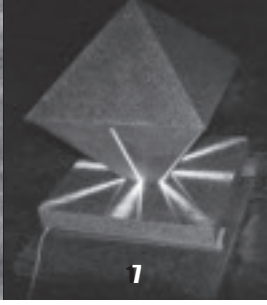
5



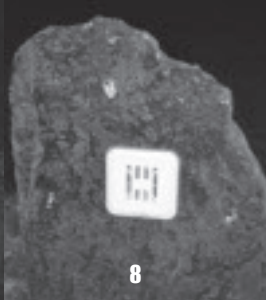
6



1



7



8



9



10



11

1_小町夢太鼓とかがり火の共演 2-11_石材業者の皆さんが作製した石灯籠

田村たばこ販売組合清掃活動 町をきれいに

田村たばこ販売組合(渡辺直忠理事長)の皆さんが10月5日、JR小野新町駅から役場までの清掃活動を行いました。

この清掃活動は、地域の奉仕活動の一環として毎年行われているもので、今年は15人が参加し、路上のごみを拾いました。清掃活動に参加された皆さんに、紙上より厚くお礼申し上げます。

